

令和6年度 交通安全教室

5月24日、館林警察署、交通安全協会、交通指導員、市役所安全安心課の皆様にご来校いただき、全校児童対象の交通安全教室を行いました。



4, 5, 6年生は校庭で警察官の方から交通安全に係るお話をいただいた後、市の安全安心課と交通指導員による衝突実験と内輪差実験を見ました。



衝突実験は、時速30kmと40kmで走る車が歩行者に衝突するというものでした。車に同乗した本校職員からは、衝突の瞬間について「大変怖くて言葉にできない」という話がありました。



内輪差の実験は、トラックが信号機のある交差点を左折するという状況を設定して行われました。交差点等で待つ際にも、車道から距離を保つ必要性が強調されました。



3年生は校庭の西側にある交通学習公園を使って自転車の乗り方について学習しました。この施設は昭和43年につくられたものです。いろいろな交差点や横断歩道、踏切などが設けられています。一人一人にとっても丁寧に助言していただきました。



児童の表情も真剣です。交通ルールを守って正しい乗り方をするには、まだ自転車に乗ることに慣れていない児童にとって簡単ではありません。



1年生と2年生は体育館で交通安全についての紙芝居を見たり、話を聞いたりして、交通ルールや約束を学びました。令和5年度に館林市内の小中学生が関係した交通事故は33件も発生しています。事故原因の中で最も多いのが「自転車乗車時の道路への飛び出しや一時不停止、安全確認不足」です。各学年で今日学んだことを生かして、交通事故に絶対に遭わないよう今後も気をつけてほしいと思います。